

佐賀県研究成果情報（平成 21 年度）

ブドウ黄緑色系品種「ロザリオビアンコ」の環状はく皮の処理時期の拡大					
[要約]ロザリオビアンコにおいて満開 45 日後、60 日後に環状はく皮を行うことによって、満開 35 日後に行う環状はく皮と同等の品質向上効果がある。					
果樹試験場・落葉果樹研究担当			連絡先	0952-73-2275 kajushiken@pref.saga.lg.jp	
部会名	果	樹	専 門	栽 培	対 象
					ブドウ

[背景・ねらい]

佐賀県は「巨峰」中心の産地であるが、赤色系や黄緑色系の品種の導入が進められているが、黄緑色系品種「ロザリオビアンコ」は出荷時期の遅れや房ごとの品質のばらつきが問題となっている。現在、県内では満開 30～35 日後を目安に環状はく皮を行うことで熟期促進、品質向上が図られている。ここでは、より導入しやすい技術とするために環状はく皮の処理時期の拡大を目的とする。

[成果の内容・特徴]

1. 「ロザリオビアンコ」は満開 35 日後に環状はく皮を行うと、収穫時期に環状はく皮区が無処理区に比べ糖度が高くなる。酸度は、環状はく皮区と無処理区でほとんど差はみられない。(表 1)
2. 「ロザリオビアンコ」は満開 35 日後、45 日後、60 日後に環状はく皮を行うと、糖度は満開 45 日後処理が最も高く、続いて 60 日後処理、35 日後処理となる。酸度は満開 45 日後処理と 60 日後処理が同等で、満開 35 日後処理が最も高くなる。(表 2)
3. 「ロザリオビアンコ」において、糖度は環状はく皮区では満開 35 日後処理、45 日後処理、60 日後処理で推移には差があったものの(図 1)、収穫時の糖度は 18 度以上になる(表 2)。また、酸度も推移には差があったものの(図 1)、収穫時期には 0.6 (g/100ml) 以下になる。(表 2)

[成果の活用面・留意点]

1. ロザリオビアンコの環状はく皮は幅 2cm で主幹部の棚下 30cm に行う。
2. 環状はく皮は樹勢低下の恐れがあるので樹勢が弱い樹には処理しない。
3. 満開 60 日後に環状はく皮を行っても、完全に癒合する。
4. はく皮部はスカシバ類、コウモリガの被害に注意し、必要に応じて殺虫剤を散布する。
5. 着果過多は品質低下を招く大きな要因であるので、適正着果量(1.5～2.0t/10a)を守る。

[具体的データ]

表1 「ロザリオビアンコ」への満開35日後の環状はく皮が果実品質へ及ぼす影響¹⁾

処理区	果房重 (g)	着粒数	一粒重 (g)	果皮色 ²⁾	糖度 (Brix)	酸度 (g/100ml)
はく皮区 ³⁾	466.0	42.2	11.1	3.0	18.1	0.36
無処理区	473.2	44.7	10.7	2.8	16.3	0.37
有意差 ⁴⁾	n. s	n. s	n. s	n. s	*	n. s

¹⁾ はく皮区は2008年8月28日、無処理区は2008年9月10日に調査

²⁾ 果皮色は達観により4:黄色、3:黄緑色、2:緑黄色、1:緑色で指数化

³⁾ 環状はく皮区は幅2cmで主幹部の棚下30cmの位置に実施

⁴⁾ *はt検定により5%水準で有意差あり。n. sはt検定により5%水準で有意差なし。

表2 「ロザリオビアンコ」への環状はく皮の時期の違いが果実品質へ及ぼす影響¹⁾

処理区	果房重 (g)	着粒数	一粒重 (g)	果皮色 ²⁾	糖度 (Brix)	酸度 (g/100ml)
35日後処理区 ³⁾	484.9	49	10.3	3.4	18.7 b ⁴⁾	0.51 a
45日後処理区	501.7	51	10.2	3.7	20.0 a	0.46 b
60日後処理区	484.1	45	10.3	3.6	19.4 a	0.46 b

¹⁾ 2009年8月27日に全処理区一斉に調査

²⁾ 果皮色は達観により4:黄色、3:黄緑色、2:緑黄色、1:緑色で指数化

³⁾ 環状はく皮区は幅2cmで主幹部の棚下30cmの位置に実施

⁴⁾ *はt検定により5%水準で有意差あり。n. sはt検定により5%水準で有意差なし。

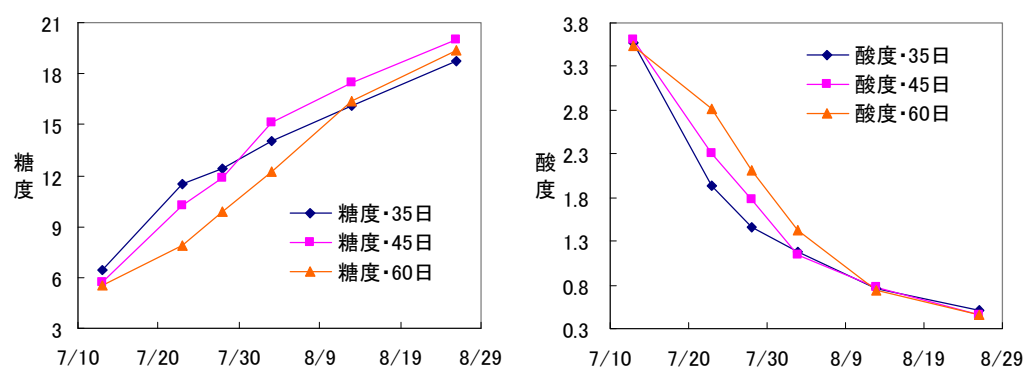


図1 ロザリオビアンコにおける環状はく皮の処理時期別の糖度、酸度の推移

[その他]

研究課題名：赤色系、黄緑色系ブドウの新品種の栽培技術確立による新商材の開発

予算区分：県単

研究期間：2005～2010年度

研究担当者：児玉龍彦、稲富和弘、加藤恵、福田浩幸（現西松浦農業改良普及センター）